

株式会社ナガワ

決算説明資料

— 2024年3月期 通期 —

2024年3月期 通期
連結決算概況

連結決算概況－B/S

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	YoY	
	21年4-3月	22年4-3月	23年4-3月	増減	増減率
流動資産	23,653	23,428	20,147	△3,280	△14.0%
貸与資産	9,768	11,541	13,514	1,973	17.1%
固定資産	32,248	35,378	46,729	11,350	32.1%
総資産	55,902	58,806	66,876	8,070	13.7%
流動負債	4,811	5,246	5,273	27	0.5%
純資産	51,009	53,480	59,725	6,244	11.7%
自己資本比率 (%)	91.2%	90.9%	89.3%	△1.6pt	-
1株当たり純資産 (円)	3,244.32	3,401.25	3,800.91	399.66	11.8%

※単位：百万円

連結決算概況－P/L

当連結会計年度においては、企業業績が堅調に推移するも人手不足感の高い水準となり、実質賃金マイナスが継続。個人消費の抑制が続くとともに、世界経済の停滞による影響を受け、先行き不透明な状況が続いております。

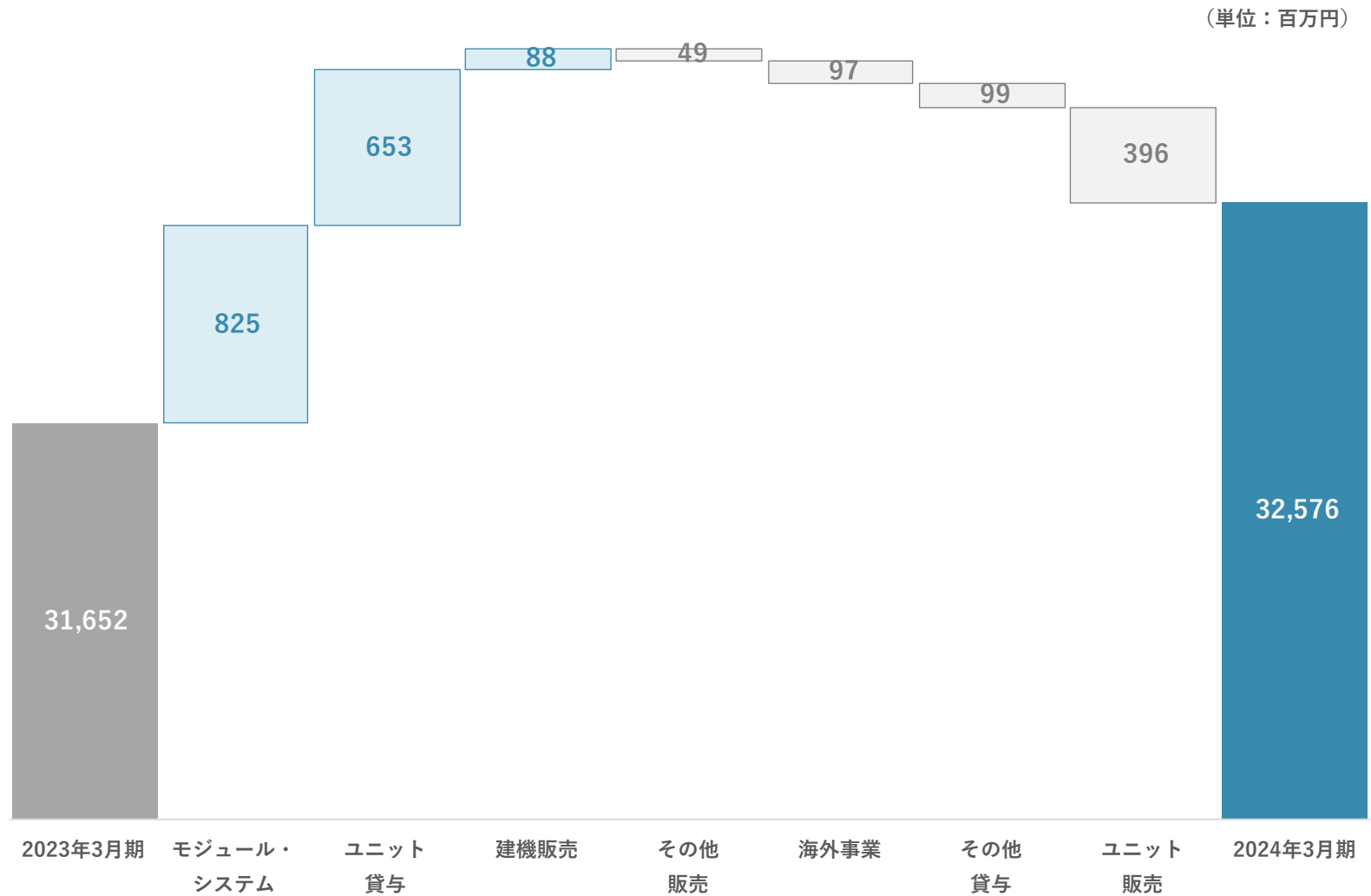
この様な環境のもと今後の需要拡大を見据え、展示場の新規開設やモジュール建築展示場へのリニューアル、全自動鉄骨溶接ロボット導入などの積極的な先行投資をすると同時に、潤沢な中古ハウスを活かしたキャンペーンを行うことで、受注拡大に努めてまいりました。

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	YoY	
	21年4-3月	22年4-3月	23年4-3月	増減	増減率
売上高	30,587	31,652	32,576	924	2.9%
売上総利益	12,521	12,862	13,165	303	2.4%
営業利益	4,432	4,308	4,241	△67	△1.6%
経常利益	4,689	4,674	4,643	△31	△0.7%
当期純利益 (※)	3,017	3,130	3,119	△11	△0.4%

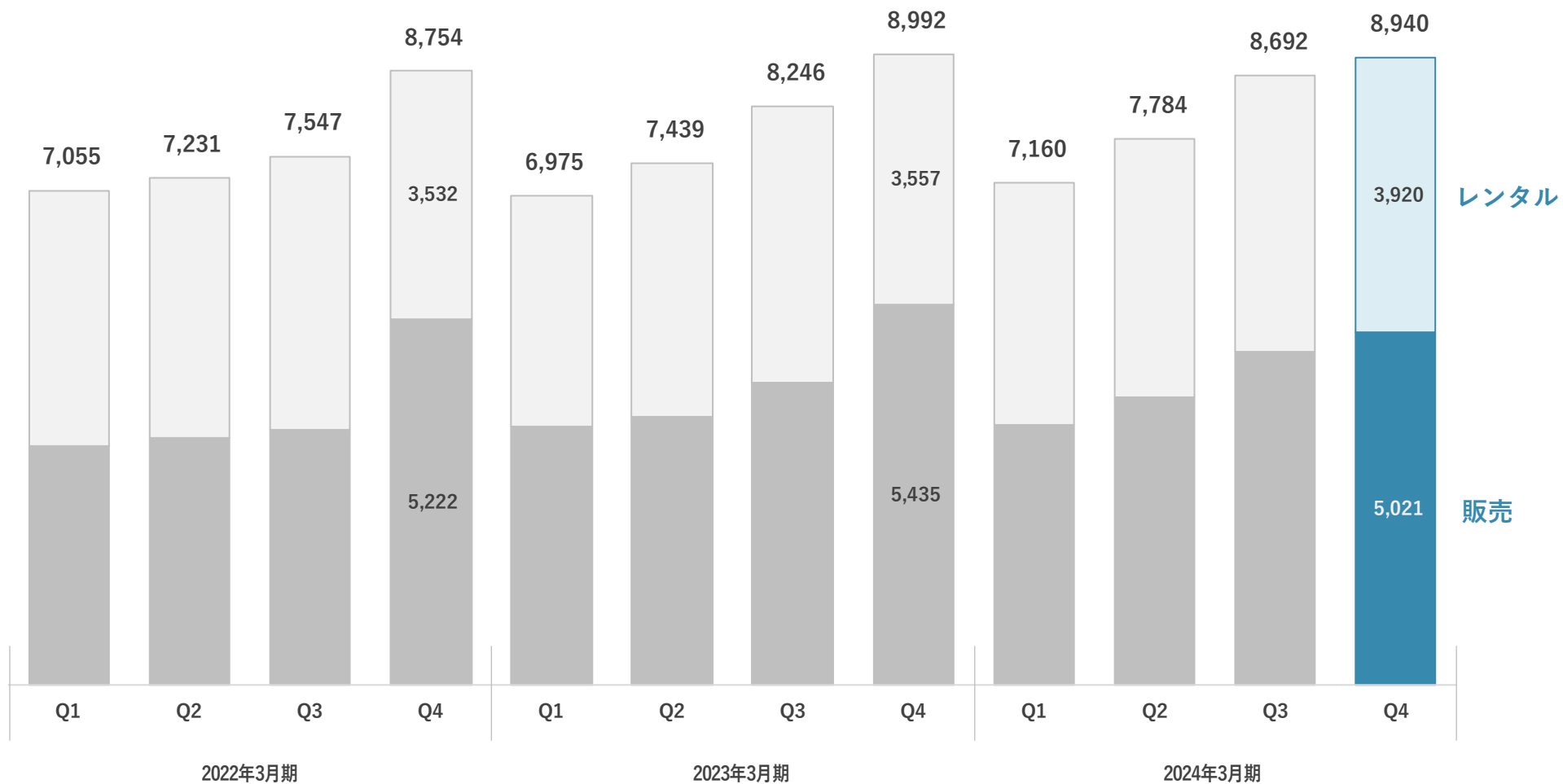
※単位：百万円

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

連結決算概況－要素別売上高増減



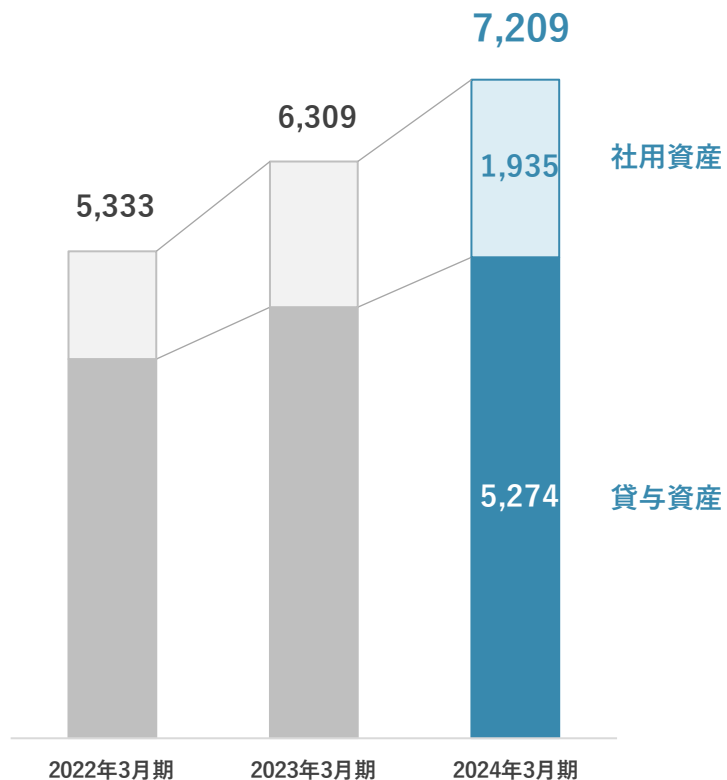
連結決算概況－四半期ごとの売上高推移



設備投資額と減価償却額

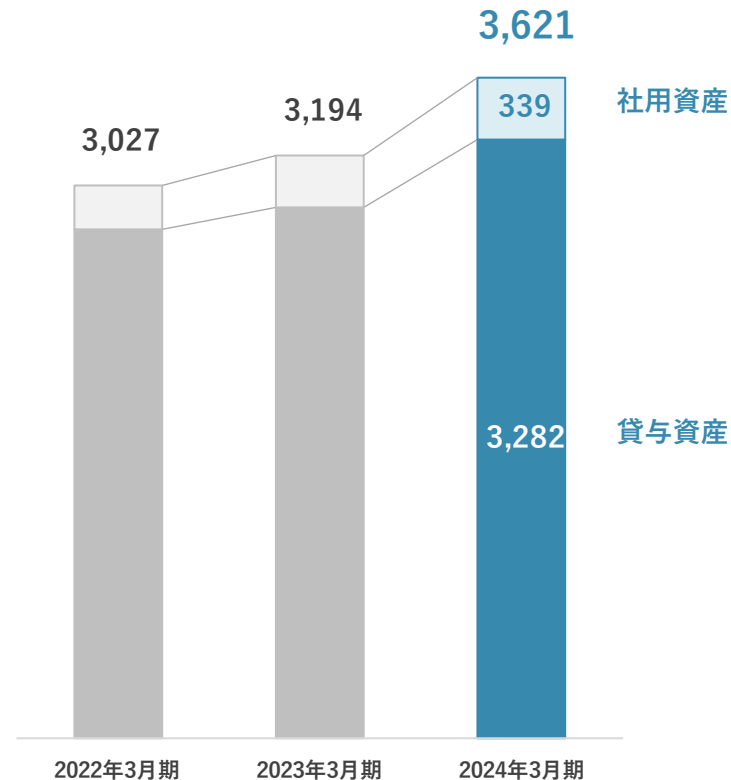
設備投資額推移

単位：百万



減価償却額推移

単位：百万



半導体企業の設備投資、万博などの需要増加を見込んで、積極的に貸与資産への投資を継続した。
社用資産においても店舗展開のための土地・建物の取得をおこなった。

減価償却額については、貸与資産の増加、および原価高騰による償却負担の増加となっている。

2024年3月期 通期
連結決算概況－セグメント別

セグメント別

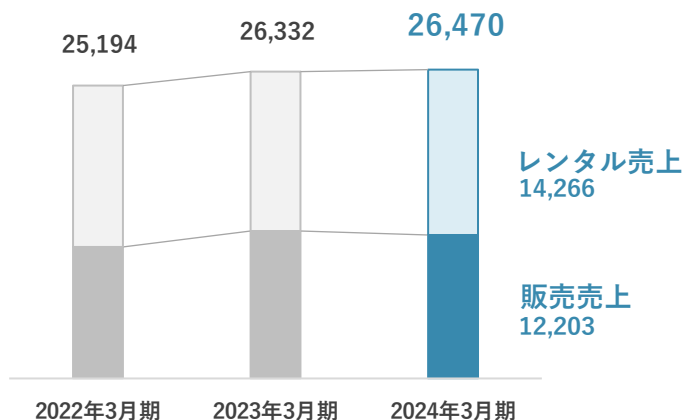
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	YoY	
	21年4-3月	22年4-3月	23年4-3月	増減	増減率
※単位：百万円					
売上高合計	30,587	31,652	32,576	924	2.9%
ユニットハウス事業	25,194	26,332	26,470	137	0.5%
モジュール・システム建築事業	4,221	4,196	4,925	729	17.4%
建設機械レンタル事業	1,170	1,123	1,181	57	5.1%
営業利益合計	4,432	4,308	4,241	△67	△1.6%
ユニットハウス事業	3,843	3,907	3,516	△391	△10.0%
モジュール・システム建築事業	489	366	729	363	99.3%
建設機械レンタル事業	143	84	40	△43	△51.7%

ユニットハウス事業

販売では新棟在庫の不足を補うため、潤沢な中古ハウスを活用し、全国一斉の販売促進キャンペーンを開催。受注拡大に努めた。レンタルにおいては、需要回復に伴う出庫棟数の増加により、稼働率が向上した。モジュール建築を展示した「モジュールベース」ならびに従来の「スマイルステーション」を、移転リニューアルを含め16店舗展開し、認知度の向上と集客増大による受注拡大に努めた。

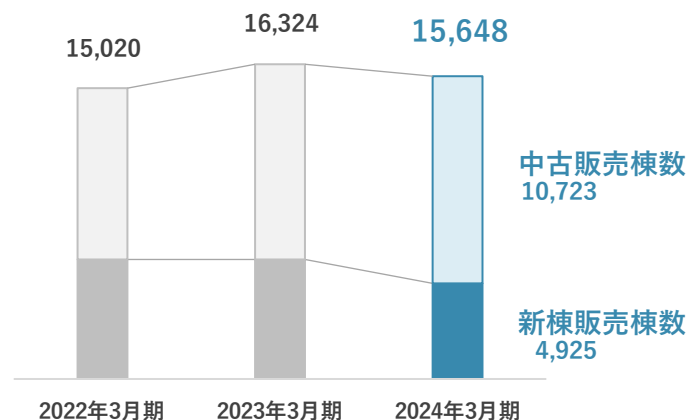
販売売上とレンタル売上

単位：百万円



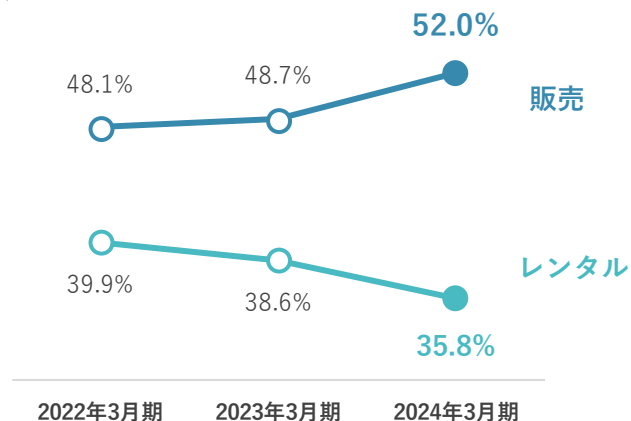
販売棟数

単位：棟



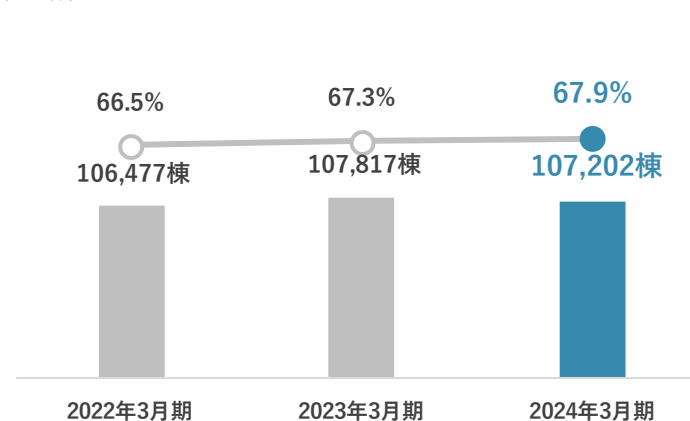
売上総利益率

単位：%



保有棟数と稼働率

単位：棟/ %



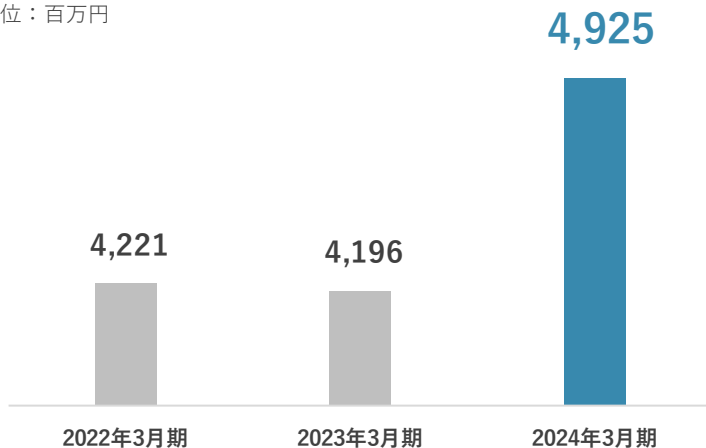
モジュール・システム建築事業



好調な民間設備投資の受注獲得のため「モジュールベース」を各地で展開し、商品のPRと受注拡大に努めた。その結果、売上高は前期比約17%増となり、期末受注残も堅調に推移した。

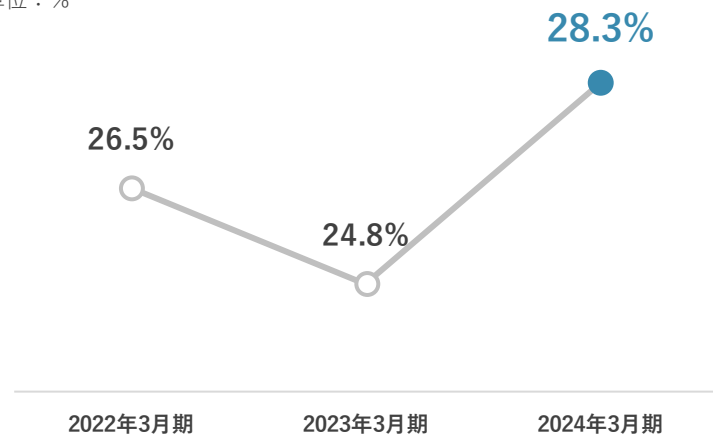
売上高推移

単位：百万円



売上総利益率

単位：%



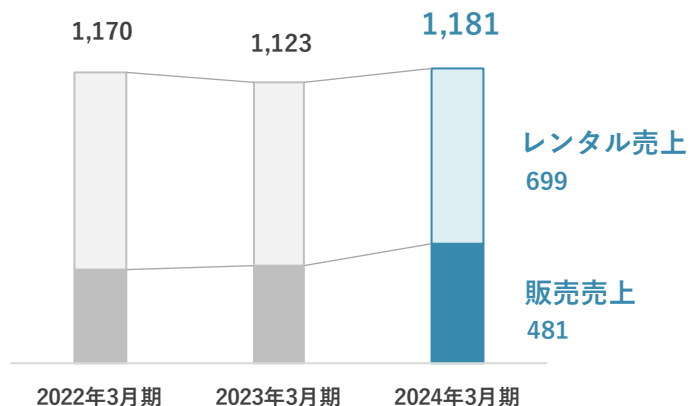
建設機械レンタル事業



北海道の公共工事は前年比同水準であったが、今後 千歳地区への大型民間投資が見込めることから自社建機資産の販売を抑制したため、販売の売上総利益は減少したものの、レンタルは前年並みに推移した。

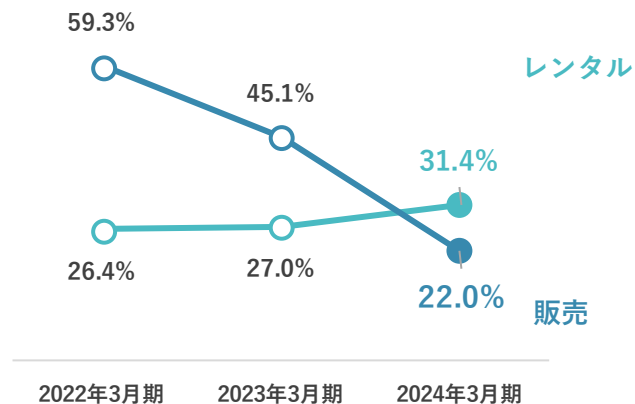
販売売上とレンタル売上

単位：百万円



売上総利益率

単位：%



2025年3月期
業績見通し

業績見通し

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	YoY	
	23年4-3月	24年4-3月	25年4-3月	増減	増減率
売上高	31,652	32,576	36,000	3,424	10.5%
営業利益	4,308	4,241	5,200	959	22.6%
経常利益	4,674	4,643	5,400	757	16.3%
当期純利益 (※)	3,130	3,119	3,700	581	18.6%
総資産	58,806	66,876	63,000	△3,876	△5.8%
純資産	53,480	59,725	58,000	△1,725	△2.9%
自己資本比率 (%)	90.9	89.3	92.0	2.7pt	-
1株当たり純資産	3,401.25	3,800.91	3,800.00	△0.91	△0.0%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

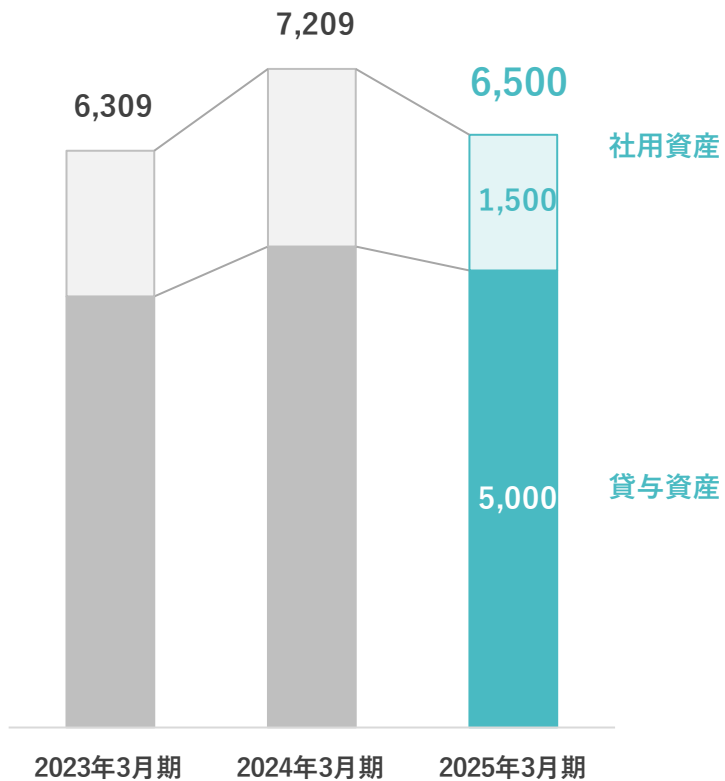
業績見通しーセグメント別

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	YoY	
	23年4-3月	24年4-3月	25年4-3月	増減	増減率
※単位：百万円					
売上高合計	31,652	32,576	36,000	3,424	10.5%
ユニットハウス事業	26,332	26,470	26,900	430	1.6%
モジュール・システム建築事業	4,196	4,925	8,000	3,075	62.4%
建設機械レンタル事業	1,123	1,181	1,100	△81	△6.9%
営業利益合計	4,308	4,241	5,200	959	22.6%
ユニットハウス事業	3,907	3,516	4,670	1,154	32.8%
モジュール・システム建築事業	366	729	500	△229	△31.4%
建設機械レンタル事業	84	40	30	△10	△25.0%
全社消去	△50	△45	-	-	-

設備投資額と減価償却額

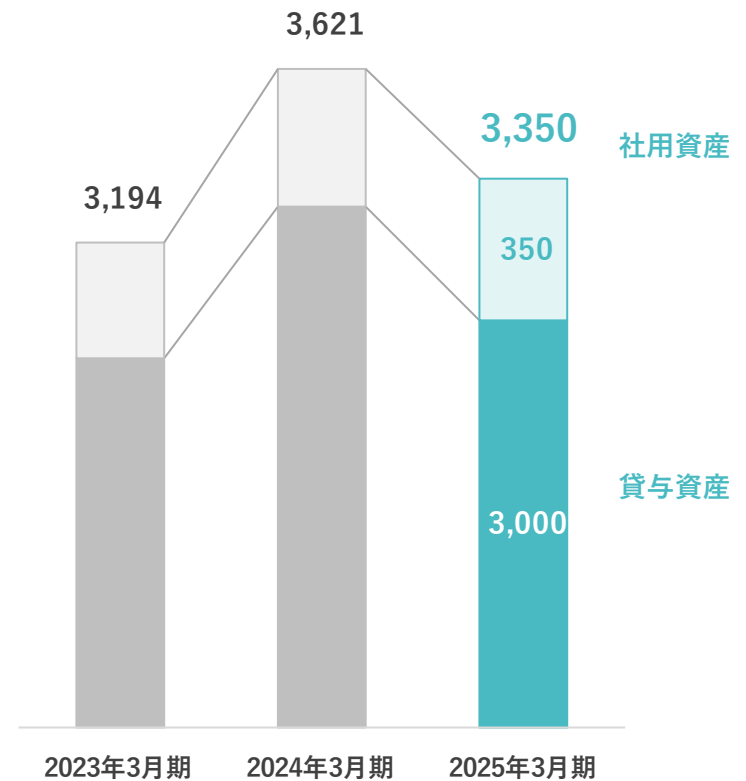
設備投資額推移

単位：百万



減価償却額推移

単位：百万



免責事項

この資料は、株式会社ナガワ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

※決算短信や、その他の資料は弊社HPにてご確認ください。

株式会社ナガワ | IRライブラリー
<https://group.nagawa.co.jp/ir/library.html>

